

●診療科の取組案内1…形成外科 ●診療科の取組案内2…腫瘍内科
●Information1…第1回 看護師特定行為研修修了式を開催 ●Information2…市民公開講座のお知らせ

山形大学医学部附属病院の最新の医療を紹介する広報誌VOL.10が出来上がりました。これを機会に当院の医療を知っていただき、地域のリソースとして有効に活用していただければと思います。

診療科の取組案内 1 形成外科

当科は診療科として独立してから1年が経ちましたが、科の認知度はまだまだ低いのが現状です。形成外科の対象疾患は、外傷、先天異常、腫瘍、瘢痕、難治性潰瘍など多岐にわたります。体表の外傷・熱傷や、きずあとの治療など身近なものも多く扱いますので、ご遠慮なくご紹介ください。

〈体表の外傷、熱傷〉

創部の状態を適切に評価し、豊富な知識と技術で、速やかにきれいに治癒を誘導することは形成外科の使命であり、得意とするところです。また、創部が治癒してからも瘢痕をより目立たなくするためにできることが多くあります。当科では創が治癒した後も引き続きアフターケアを行い、瘢痕

までを含めた総合的な創傷管理を行っております。また、小児の外傷や熱傷は受け入れを行う施設が少ない現実があります。当科は常時受け入れる体制を目指していますのでご相談ください。

〈悪性腫瘍切除後の再建〉

他科の悪性腫瘍切除術時に、当科でその再建術を連携して行っております。大きな切除欠損であっても、血管柄付きの自家遊離組織移植により、できるだけ元の状態に近づける配慮をしています。これには綿密な手術計画と顕微鏡下での高度な血管吻合技術が必要ですが、当科では様々なケースに対応できるよう日々研究を行っています。癌を多く取り扱う医療機関としては、再建術は今や無くてはならない存在であり、当科の重要な役目であると考えています。また、切除手術で癌は治癒したものの、大きな変

形や機能障害が残ってしまった症例に対する二次再建術も可能な場合が多いので、このような患者さんがいらしたら、ぜひご紹介いただければと思います。

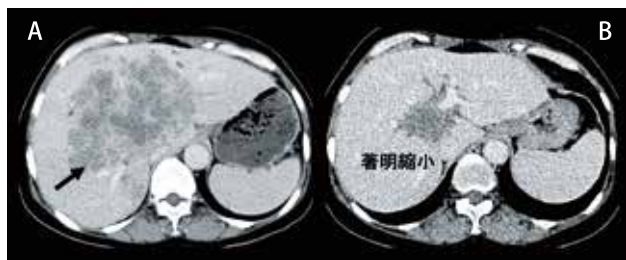


顕微鏡下血管吻合

腫瘍内科は、あらゆる悪性疾患の治療を行っています。2分の1が消化器疾患、4分の1が肺がん・乳がん、残りが原発不明がんのようなあまり見ない癌腫です。それらの疾患に最新の薬物療法を行っています。

〈消化器、肺がん、乳癌の治療〉

消化器、肺がん、乳がんなどに関しては、一般的な悪性疾患の治療からスタートします。しかし、オーソドックスな治療を行っても、まだまだ治療成績は良くないのが現状です。そん



大腸がん術後肝転移の症例。A:治療前 B:治療後
分子標的治療薬(ペバシズマブ)の投与によって、大腸がんの肝転移が著明に縮小し長期に生存した。

な中で、この10数年間分子標的治療薬が出てきました。分子標的治療薬を上手に使うと、がんのコントロールが可能で、そうした治療も一般外来などで試してみることを提案できます。また、免疫チェックポイント阻害剤を使った免疫療法も使うことができ、治療のはばも出てきています。

〈原発不明がん、その他に対する治療〉

これらの疾患は、普通の病院では見たことがなく、治療法に困るといわれます。しかし、当院にはそういう疾患が集まってきており、スムーズに治療に入っていくことができます。場合によっては、最新の治療に出会えるかもしれません。

最後に 悪性腫瘍の進捗期には、病気の治療が大切ですが、痛みや苦しさも除いていかなければなりません。そういった治療についてもご相談頂ければ、対処できる手段を持っていると思います。

Information 1

第1回 看護師特定行為研修修了式を開催

厚生労働省では、さらなる在宅医療等の推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りないため、医師又は歯科医師の判断を待たずに手順書により一定の診療の補助を行う看護師を養成するべく、平成27年10月1日から特定行為に係る看護師の研修制度を開始しました。

山形大学医学部では、在宅医療を推進するために山形大学医学部在宅医療・在宅看護教育センター(平成25年7月設置)を設置し様々な取組を行ってきたところですが、上記特定行為研修制度の重要性に鑑み、平成29年2月27日付けで厚生労働大臣から山形県内初となる研修機関の指定を受け、平成29年4月から特定行為研修をスタートさせました。

このたび一期生2名の修了者を輩出することになり、平成31年3月26日(火)山形大学医学部にて修了式を行いました。

2人は昨年度、約400時間の座学を終え、本年度は実務研究を行い、気道確保や人工呼吸器療法等に関する呼吸器関連の研修や栄養・感染・血糖コントロール等に関する薬剤投与など、本学で取得可能な16区分29行為すべての研修を終えました。

特定看護師の認定を受けたのは、本学大学院医学系研究科看護学専攻2年の黒木ひとみさんと高橋千晶さん。この春から特定看護師として現場に出る黒木さんは「患者さんが家に帰っても安心して暮らせるようサポートができる看護師になりたい。医師を看護師、そして医学を学んだ者としての両方の目線でサポートしたい」、高橋さんは「患者さんの安全、安楽のみならず、医師の力になり、病院全体の看護師のレベルアップも図りたい」と抱負を語っていました。



左から山形大学大学院医学系研究科看護学専攻2年 高橋千晶さん、黒木ひとみさん

Information 2

山形大学医学部東日本重粒子センター市民公開講座のお知らせ

世界最先端の重粒子線がん治療を目指して

□開催日時/2019年6月8日(土) 14:00~16:00 (受付13:00~)

□場所/山形テルサ アプローチ □対象者/一般市民 先着400名

参加の手続き

- ・申込期限 2019年5月24日(金)
- ・申込方法 下記お問合せ先のFAXまたはE-mailにてお申込みください
- ・問合せ先 山形大学医学部総務課秘書室 FAX023-628-5019
E-mail isosyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

Citizen
open lecture

ホームページでも情報を公開しています。
<http://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/news/190320/>